

今日はまず、人間の感情についてお話しいたします。人間は感情で生きています。その感情や心はどこからくるかというと、一般的には脳であると言われていています。さらに、その脳に影響を与えているのはお腹であるということが最近、分かってきました。

お腹、要は胃腸のことです。日本語には、「お腹」に関する言葉がたくさんあります。例えば「腹が立つ」という言葉はありますが、脳が立つ、とは言いません。感情は脳だと言われているのに、腹が立つと言うのです。昔の人は元のことを伝えてくれているのです。

ですから、胃腸をきちんとすると脳に良い影響が出てきます。その中で一番大切なのは毎日のお通じです。大導師さまは「よく噛みなさい」と私たちにご指導くださいました。内臓、特に胃腸を良くすることが人間にとって大切なことなのです。

なぜこういう話をしたかと言うと、因縁的に言うと、大晦日から正月にかけて「スイッチ」が変わるのです。もうすぐ6月になり半年が経つので、今年の体になります。つまり今年の病気が出てくるのです。私は年頭に、今年は足をすくわれるよとお話をしました。6月前にこの話を聞き、皆さんに健康を維持して頂きたいのです。

繰り返しますが、お腹に気を付けてください。これから熱中症にならないようにと冷房を使いますが、腹巻をしたり温かいものを飲んだりして、お腹を冷やさないようにしてください。

今の皆さんを見ていると、身体がちょっと不安定になっています。これから先、大病をしてはいけません。皆さん自身とご家族、周りのすべてにおいて、6月を迎える前にスイッチを押し直した方が良いので、今日はまずこういう話をしました。

もう一つの話は「事故」です。病気も突然起きたらどうしようもないのですが、大半の病気は検査をしたり、予兆を感じて回避できることがあります。事故だけはそうはいきません。

例えがよくないかもしれませんが、一番いい亡くなり方は大往生で、病気もせず天命がきた時に眠るように亡くなることです。

その次は、病気で本人が納得している中で亡くなることです。ここで大切なことは、家族ではなく本人が納得することです。例えば家族で相談して延命や様々な選択肢を考えます。しかし、家族が思っていることと、本人が願っていることが同じかどうかは難しい。ただここは妙智會の先祖供養・回向をきちんとして、親不孝の懺悔をすると、一つの心になって本人と家族の願いが合致して、素晴らしい順序になります。だから妙智會のみ教えはありがたいのです。

事故の話にもどりますが、突然の事故というのは亡くなった本人も驚いています。あまり重い軽いで表現してはいけませんが、事故で亡くなるのは非常に重いことです。今年はそういう「突然の」という意味の事故が多くなります。

病気には予兆がありますが、事故にも本当は予兆があります。皆さんが真剣に会主さまのみ教え、妙智のみ教えをしていくと、事故を事前に回避できるようになる。これが妙智會の功德です。

最後に、5月いっぱいまで何もなかった方、本当に良かったと思いますが、気をつけてください。突然何かが起きる、おどかしではなく、今年の因縁の話として申し上げます。まだ5月末ですが、今こういう話をしたということは、下半期に入るまで待てない状況だということです。しっかりと健康面に対する心構えをして頂き、今言った事故も正しくみ教えを行じれば、予兆があっても回避ができます。ぜひスイッチを押し直して頂くことをお願いいたします。